

## アレルギー症状が出た時の対処法

	軽症	中等症	重症
皮膚	限られた範囲の痒み 部分的に赤い斑点 じんま疹が数個以内 唇が少し腫れている	強い痒み 赤い斑点があちこちに じんま疹が10個以上 瞼や唇などが腫れる	激しい全身の痒み 全身が真っ赤 全身にじんま疹
おなか	口の中の 痒み・違和感	嘔気もしくは1回の嘔吐 軟便もしくは1回の下痢 間欠的な腹痛	嘔吐を繰り返す 数回以上の下痢 激しい腹痛
鼻・肺	単発的な咳 くしゃみ	断続的な咳 鼻づまり・鼻水 のどの痒み	声がれ・声が出にくい 途切れない激しい咳き込み 犬が吠えるような咳 喘鳴 呼吸困難
心臓	/	/	脈が速いもしくは不規則 顔色が蒼白 唇や爪が白い・紫色
神経	/	元気がない (不活発)	不安・恐怖感 ぐったり 意識がもうろう
対応	注意深く症状を観察 ※症状が進行するようなら中等症の対応を行う	<b>病院受診</b> ※症状が進行するようなら重症の対応を行う	<b>緊急に病院受診！</b>
治療	抗ヒスタミン薬内服	内服出来そうなら 緊急時薬（抗ヒスタミン薬・ステロイド薬内服あるいは気管支拡張薬吸入）使用して受診。	エピペン使用した上で救急車で病院に急行！ 必要なら気管支拡張薬吸入を使用

- 1、患者や保護者は緊急時薬を携帯し、外出や園・学校でも使えるようにする
- 2、アナフィラキシー歴がある患者はエピペンの携帯を考慮
- 3、食物が口の中に残っていたら、取り出してうがいをする
- 4、目に入ったら水道水で洗眼（ステロイド点眼薬を携帯しているならばさす）し、眼科受診
- 5、アナフィラキシーは進行性であり、  
初期の軽い症状から急速に悪化することがある
- 6、過去にアナフィラキシーやショックなど強い症状がでたことがあれば、  
軽い症状でも早めの対応をする